

学び、身につけていく機会を逃したと思われ  
れます。

場面を沈黙によって回避することを繰り返  
し、場面かん黙の傾向を一層強めていった  
と思われます。

そのため、Y男は、緊張や不安を感じる

#### 4. 指導援助の実際

##### (1) 指導援助の方向

[本人に] ○ 安心できる場としゃべらない自由を保障しながらも、話しかける機会を多くし、自ら話したくなるような状況をつくる。

[両親に] ○ 声かけを多くし、手伝いをさせるなどして、Y男に自信を持たせたり存在感を味わわせたりする。

[担任に] ○ できるだけ寄り添うようにし、明るく声をかけ、Y男が応答できる機会をつくりながら信頼関係を深めるとともに、温かく受け入れる学級づくりに努める。

##### (2) 指導援助の経過

来所の際のかかわり	両親・担任のかかわり	Y男の変容
<p>○Y男の安心できる相手になれるようにバトミントンやトランポリンなどで遊ぶ。</p> <p>○ゲーム「だるまさんがころんだ」で声を出す場面をつくる。</p> <p>○来所時に「こんにちは」の声をかける。</p> <p>○トランポリン、登り綱、ボール遊びなどで遊ぶ。</p> <p>○来所の際に、「こんにちは」の声かけを継続する。</p> <p>○担任へは、かかわりのよさを賞賛し、気負わずあせらずゆったりとした気持ちで、信頼関係をつくること</p>	<p>○母親も混じって活動する。</p> <p>○担任が来所し、Y男への援助の在り方について相談する。</p> <p>○担任は、Y男に返答を強要せず、自然に明るく振舞う。</p> <p>○担任との交換日記が始まる。</p> <p>○担任は、効果をすぐ期待</p>	<p>○初めのうちは、緊張している様子がみられる。</p> <p>○学校というイメージがないせいか、小声で答えるようになる。</p> <p>○穏やかな表情になってきたが、まだ返答は、聞かれない。</p> <p>○ゲームに負けると、一方的に遊びを放棄する。</p> <p>○親密さを感じ始めたのか、はにかみながら返答するようになる。</p> <p>○交換日記に関心を示す。</p> <p>○担任の問いかけに、うな</p>